

会派視察・研修報告書

会派名 公 明 党

代表者名 寺島 芳枝

1 日 に ち	令和3年 5月 24日（月） 13：00～17：00
2 視 察 先 研修主催者会場	「マニフェスト大賞2021キックオフ研修会」 ローカル・マニフェスト推進連盟・マニフェスト大賞実行委員会 会派室でオンライン
3 参 加 者	片山 竜美
4 調査・研修のテーマ	改革から変革へ～地域から日本を変える～
5 主な内容	①「議会から地方の変革を」北川正恭氏 ②「市民による政策選択から実践までつながるシステムづくり」古川雅典市長 ③「生活者起点のマニフェストサイクルで地域を変えていく」 ④「オンライン本会議の可能性を探る ～模擬本会議を実施した大津市議会からの報告～」 ⑤「楽しみながら社会問題や政策の存在に気付く『ゲーム限界都市』」 ⑥「『みんな de 議会』議会より一足先に予算を市民と一緒に審査する」 ⑦「議会改革から議会の“変革”へ」 中村健氏 ⑧「議会報告会のオンラインの活用や他議会と連携した議会 BCP の改定」 ⑨「議長主催による初当選議員勉強会やオンラインへの道のり」 ⑩「“変革” へ向けた議会のあり方」
6 所感、提言事項、 課題等	【議員氏名】片山 竜美 ・古川市長は市政における PDCA サイクルの仕組みを確立し、それを政策実現に生かしている。特に「討議課題集」は、市民や職員、市議会等各方面からの意見を集約し、それを活用すれば誰でもマニフェストを作成できる仕組みを作り上げたことは素晴らしいと思った。 ・中村氏は、今回のテーマである「議会改革から議会の変革へ」議会運営プロセスや構造を抜本的に見直し、議会という組織そのものを変えていく時代に入ったと強調。市民の暮らしまでも変えていく議会の変革のために何ができるか、これから自分なりにしっかりと考えていきたい。

6 所感、提言事項、 課題等	・大津市ではコロナの影響で、リモートによる議会を行った。このために条例の改正や法律そのものの改正が必要であることがわかり、現実的にはなかなか困難である。しかし、議会全体で考えていかねばならない課題であると感じた。 ・北川氏から行政における DX の重要性を学んだ。そのためには、議員もデジタル機器等に苦手意識を持つてはいけないと感じた。誰もが果敢に挑戦し、市民にも教えていける立場でなくてはならないと思う。 ・「議員がいなくて、困る人はいるか」「議会の AI 化」など様々なテーマでセッションが行われた。議員として、政策提案能力、条例制定能力等もっと力を付けていかなくてはならないと感じた。
---------------------------	---